

# 大学院

## Graduate Programs



### Educational Philosophy

#### 教育理念

「人間の生命や生活の質を真に理解できる豊かな人間性ととも、専門的職業人としての基盤を備え、保健・医療・福祉の幅広い領域で、県民の健康と福祉の向上に貢献できる看護職及び看護指導者を育成する」という本学の教育理念を受け継ぎ、深化・発展させる。看護を取り巻く状況が高度化・複雑化・専門化する中において、より質の高い効果的な看護を構築・提供するために、学際的で深い科学的知識と高度の研究能力を有して看護学教育・研究・実践に携わることのできる教育者・研究者・高度専門職業人を育成し、看護学の一層の確立と看護実践の発展に努める。



研究科長  
牧野 智恵

金沢大学医療短期大学部看護学科卒業  
北里大学大学院看護学研究科修士課程  
(がん看護学専攻分野)修了看護学修士  
大阪府立大学大学院比較文化学研究  
科博士後期課程修了学術博士  
近畿大学医学部附属病院にて臨床勤務  
後、福井県立短期大学看護学科(第一  
看護学科)、福井県立大学看護福祉学  
部の講師・准教授を経て、平成19年度より  
本学の成人・老年看護学講座および大  
学院成人看護学分野の教授。  
平成28年度より研究科長就任。

#### Message

本学の看護学研究科は、専門分野の課題を追究し、エビデンスのある看護を創造できる看護の教育者、研究者、実践家の育成を目的として、平成16年度に博士前期課程、平成18年度に博士後期課程が開設されました。以来、博士前期課程では看護デザイン分野、地域・精神・保健学分野、看護管理学分野、女性看護学分野、子どもと家族の看護学分野、成人看護学分野、老年看護学分野の各分野から99名、後期課程では看護学領域から15名の修了生を輩出し、実践家、研究者として幅広く活躍しています。

本学研究科の特徴は、がん看護、老人看護、小児看護、地域看護の専門看護師(CNS:Certified Nurse Specialist)の育成プログラム、看護管理学分野で認定看護管理者の育成プログラムを開設していることです。現在、本学を修了した25名のCNSが、北陸三県のみならず関西・中部の地域・臨床の看護の質の向上に大きく貢献しています。

また、ワシントン大学招聘教授による国際看護特論の開講や夏期アメリカ看護研修を実施し、さらに大学院生を対象とした海外渡航助成制度が設立され、将来をグローバルに展望できる、国際競争力のある看護専門家の育成を目指しています。

もちろん、働きながら学ぶ方々のために、長期履修制度や夜間開講、土・日曜日開講、集中講義など多様な履修方法を準備し、科目等履修制度も取り入れるなど、学びやすい環境づくりにつとめています。「より看護を深めたい」「よりよい看護技術・実践を開発したい」という意欲を持った皆さんの入学を心より願っております。

※人数は平成29年4月現在

#### 教育目標

##### 博士前期課程

- ① 看護教育を支える教育・研究職の育成
- ② 高度な専門的知識・技術・実践能力を備えた看護職者の育成
- ③ 生涯にわたって研鑽できる看護職の知的交流の場づくり

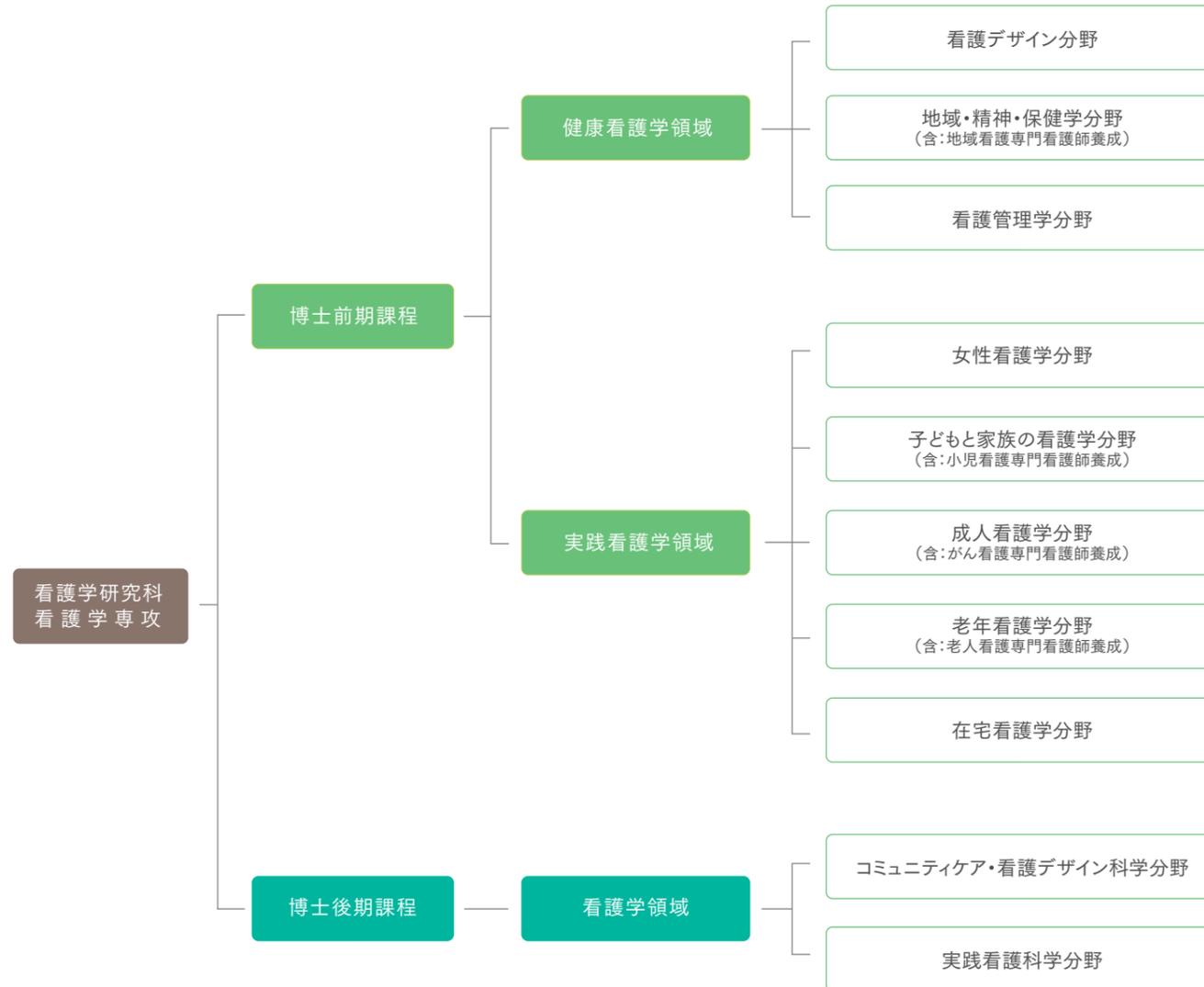
##### 博士後期課程

- ① 看護学や看護実践の発展に寄与する教育者・研究者の育成
- ② 科学的な理解に基づいて看護をデザインできる研究者の育成
- ③ 対象の特性を踏まえた看護を実践できる研究者の育成

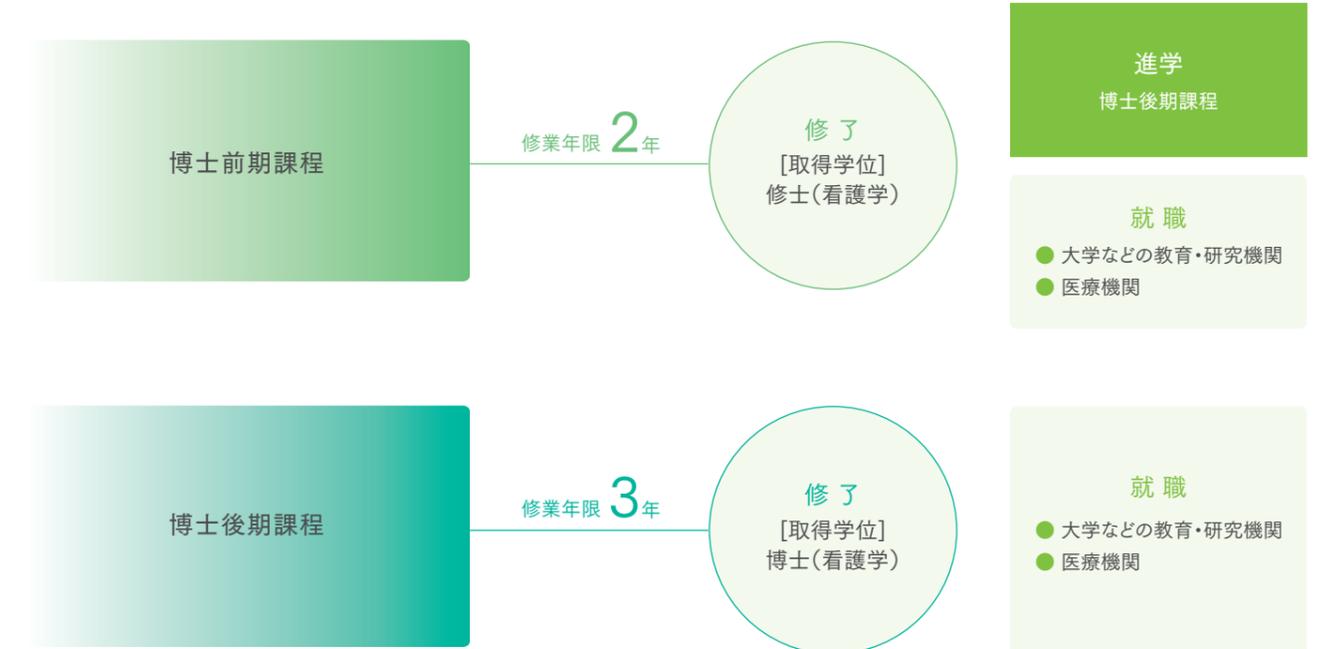


ナイチンゲールコレクション  
本学附属図書館所蔵

# 大学院の構成



## 取得学位・取得資格



### 専門看護師・認定看護管理者への道

本学の博士前期課程には、  
地域看護、小児看護、がん看護、老人看護の「専門看護師」の養成分野、  
「認定看護管理者」の養成分野が開設されています。

#### ○専門看護師とは？

複雑で解決困難な看護問題を持つ個人・家族および集団に対して、  
水準の高い看護ケアを効率よく提供するための特定の専門看護  
分野の知識や技術を深め、保健・医療・福祉の発展に貢献し、併せて  
看護学の向上を図ることができる看護師です。

#### 受験資格について

保健師、助産師、看護師のいずれかの免許取得者で、本学博士前期課程の  
下記各分野の「専門看護師」教育課程で所定の単位を取得し、  
実務研修が通算5年以上ある者(うち3年間以上は専門看護分野の  
実務研修)が、日本看護協会の「専門看護師」認定審査を受けることが  
できます。

「専門看護師」教育課程を開講している 本学博士前期課程の分野	「地域・精神・保健学分野」	「子どもと家族の看護学分野」	「成人看護学分野」	「老年看護学分野」
日本看護協会認定制度「専門看護師」	「地域看護」	「小児看護」	「がん看護」	「老人看護」

#### ○認定看護管理者とは？

多様なヘルスケアニーズを持つ個人・家族・地域住民に対して、  
質の高い組織的看護サービスを提供することを目指し、看護管理  
者の資質と看護の水準の維持および向上に寄与することにより、  
保健・医療・福祉に貢献できる人材です。

#### 受験資格について

看護師の免許を有し、実務経験が通算5年以上であり、本学博士前期課程  
「看護管理分野」を専攻し修士号を取得している者で、下記の  
要件のいずれかを満たす者が認定審査を受けることができます。

- ①博士前期課程修了後の実務経験が3年以上である。
- ②師長以上の職位で3年以上の管理経験を有する。

### 社会人の就学に関する特別措置

#### ○教育方法の特例

大学院設置基準(昭和49年文部省令第28号)第14条では、夜間その他の特定の時間または時期において授業や研究指導を行うことができる道が開かれており、本学大学院では、社会人の就学のため、在職のまま在学することを認めています。

#### ○長期履修制度

大学院設置基準(昭和49年文部省令第28号)第15条は、職業を有している等の事情により標準修業年限での履修が困難な者に対して、標準修業年限を越えて一定の期間にわたり計画的に履修を認める制度で、本学大学院では、平成22年度から導入しています。

※これらの特別措置を希望する方は、志望する看護学領域の教員にご相談ください。

# 博士前期課程カリキュラム

## カリキュラム・ポリシー

博士前期課程では、学際的で深い科学知識と高い研究能力を有し看護学の研究や教育、実践に携わることのできる研究者・教育者・高度看護実践者を育成するために、研究コースと専門看護師コースを設け、次のような教育課程を編成している。

1. 広い視野で看護を学ぶための学際的な科目から構成されている「共通科目 A」「共通科目 B」、各研究教育分野におけるより深い専門性を学ぶ「看護専門科目」を置いている。「共通科目 A」は研究コース・専門看護師コースのどちらの学生でも履修できるように配置している。
2. 論文作成にあたっては、中間報告会などにより研究プロセスを段階的に学んでいくことができるように、全学的な指導体制をとっている。
3. 専門看護師コースでは、特定分野におけるケアとケアを融合した看護実践力、保健・医療・福祉チーム内の調整力などの育成を目指し、看護実践力の高い専門看護師とタイアップして日本看護系大学協議会で認定された専門看護師教育を展開している。
4. 国際的な視野を持ち、より効果的な看護を探究し提供していくために、海外の招聘教員による国際看護を学ぶ科目を置いている。

### 博士前期課程(修士) 修了認定基準

修了に必要な修得単位数

本研究科博士前期課程に2年以上在籍し、共通科目14単位数以上[必修10単位(特別研究6単位を含む)・選択4単位以上]、専門科目16単位数以上、計30単位数以上を修得しなければならない。

その他の修了要件

修士論文の審査および最終試験に合格しなければならない。

### [Voice]

多くの支えによって、歩みを進められた

健康看護学領域 看護デザイン分野  
平成28年度修了生  
金沢医科大学看護学部 助教

石井 和美

研究方法を学び実施し、論文を完成するまでの道のりは決して平坦な道ではありませんでした。時にはその歩みを止めたくなるような日もありましたが、その中で先生方の指導や助言はその道に光を与えてもらえ、歩みを進めることができました。また、同期の院生や先輩・後輩には日々状況を報告し、支え合いながらともに修了までの道のりを乗り越えていくことができました。深く感謝しています。これからも看護の実践と研究に邁進し、日々研鑽を積んでいきたいと思っています。

修了生から  
(前期課程)



## 共通科目

●必修 ○選択

看護分野の基礎となる看護科学論と看護研究を必修科目として配置。広い視野と知識を持ち、人間性豊かな看護を実践するための基礎科目、より深い研究に対応できる能力を養成するための科目を選択科目として配しています。修士論文作成のための特別研究も必修です。



国際看護  
特論

学術交流協定により、海外から看護学部の教員を2年ごとに招聘しています。招聘時には、国際看護特論の講義のほか、学生の研究に関する相談ができる「コンサルトアワー」があります。また、学外の医療従事者等向けの講演会などを、来日スケジュールに合わせて開催しており、学生も参加できます。

## 健康看護学領域

あらゆる健康レベルの人とその家族に対する総合的ヘルスケアのデザインを目的に、その理論・方法・実践能力・管理能力を養います。

### 看護デザイン分野

医療機関・施設・在宅等で療養生活営む人、あるいはケアの提供者を対象に、生命力を高め生活を支援するための道具や設備の開発、療養環境の調整、ケア方法の設計およびそれらの効果の検証を行います。学際的な研究アプローチの方法を修得し、有効性の高い看護をデザインする研究能力を養います。

### 地域・精神・保健学分野

地域住民に対する地域看護、在宅看護、障害者に対するノーマライゼーションも含む地域精神保健看護を包含し、各々の特論・演習・実習科目を設定。教授内容は、あらゆる健康レベルと地域社会に応じた援助方法、在宅療養者・障害者(身体障害、知的障害または精神障害)本人と家族への支援方法、地域ケア支援体制づくりに関する看護援助提供方法等です。

専門看護師教育課程 地域看護 (P22)

### 看護管理学分野

多様なヘルスケアニーズを持つ個人・家族・地域住民に対する質の高い看護サービスの提供が目的です。その手段として、創造的に組織を進展させ、看護サービスの質を保証するためのヘルスケアシステムの在り方を探求できる研究能力を養います。

認定看護管理者 (P22)

[授業科目]	[単位数]
共通A	
●看護科学と看護理論	2
●看護研究	2
○データ分析方法論	2
○コンサルテーション論	2
○ケアと哲学	2
○看護教育特論	2
○看護管理特論	2
○国際看護特論Ⅰ	2
○国際看護特論Ⅱ	2
○看護福祉政策論	2
○家族看護特論	2

共通B	
○臨床薬理学	2
○アドバンストフィジカルアセスメント	2
○病態生理学	2
●特別研究	6

[授業科目]	[単位数]
看護デザイン論	2
看護デザイン特論Ⅰ	2
看護デザイン特論Ⅱ	2
看護デザイン演習Ⅰ	2
看護デザイン演習Ⅱ	2

[授業科目]	[単位数]
地域看護学研究特論	1
地域看護学特論	2
地域看護診断・展開特論	2
地域看護診断・展開演習	2
健康管理学特論	2
地域看護管理特論	1
地域ケアシステム開発論	2
地域精神保健看護特論	2
地域精神保健看護演習	2
地域看護展開実習	2
地域看護高度実践実習【B-1】	4
地域看護高度実践実習【B-2】	2
地域看護管理実習	2

[授業科目]	[単位数]
看護組織論	2
人的資源活用論	2
看護経済・経営論	2
看護管理演習	4
看護管理実習	2

## 実践看護学領域

各ライフサイクル期にある対象の特性や健康問題の理解を基盤に、看護援助の理論・方法に関する研究・実践能力を養います。

### 女性看護学分野

生涯を通じた女性の心身の健康をカバーする考えに基づき学びを展開。思春期から老年期までの健康を理解し、セクシャリティの特徴やリプロダクティブ・ヘルス・ライツの考え方、不妊治療への理解、産前産後ケア、婦人科疾患予防等について学びます。

### 成人看護学分野

がんや危病的状況、慢性的な疾病や障害を持つ患者と家族を対象に、病態生理の専門的知識、看護理論やその活用方法を学び、家族看護や他職種との連携、倫理的側面も修得。治療後や治療効果が期待できなくなった患者とその家族への継続ケアおよび緩和ケアにも焦点をあてます。

専門看護師教育課程 がん看護 (P22)

[授業科目]	[単位数]
女性看護学特論Ⅰ	2
女性看護学特論Ⅱ	2
女性看護学特論Ⅲ	2
女性看護学演習Ⅰ	2
女性看護学演習Ⅱ	2

[授業科目]	[単位数]
成人看護学特論	2
がん看護援助論	2
がん病態治療学特論	2
緩和ケア演習Ⅰ	2
緩和ケア演習Ⅱ	2
がん看護学演習Ⅰ	2
がん看護学演習Ⅱ	1
がん看護学演習Ⅲ	1
がん看護学実習Ⅰ	2
がん看護学実習Ⅱ	4
がん看護学実習Ⅲ	4
急性期病態治療学特論	2
急性期援助論	2
慢性期看護学演習	4
急性期看護学演習	4

### 腫瘍専門科目 (e-learning)

分子腫瘍学特論	1
がん外科学特論	1
がん緩和と医療学特論	1
腫瘍放射線医学特論	1
腫瘍薬物学特論	1
臨床腫瘍学特論	1
臨床栄養学特論	1

### [Voice]

自らも成長し、人材育成に生かしたい

健康看護学領域 看護管理学分野  
平成27年度修了生  
公立能登総合病院 副看護師長

仙本 禎恵

平成24年度に石川県看護教員養成講習会を修了し、組織での人材育成のために看護管理学について学びたいと思い、大学院に入学しました。大学院で得たものはたくさんの理論のみならず、先生方、同じ分野の先輩方や後輩、そして苦楽を共にした同期の院生たちとの出会いという人材です。「組織は人なり」、人を育むことは組織の成長にもつながります。自らが看護師として人として成長できるよう、大学院で学んだ理論を実践に生かし、後輩育成や病棟運営に邁進していきます。

修了生から  
(前期課程)



### 子どもと家族の看護学分野

子どもの発達や健康生活、養育環境の重要性等、子どもと家族の状態を総合的に理解し援助するための知識・理論を学びます。育児不安や虐待等、子どもと家族をとりまく諸問題を当事者の視点で捉え、親子への対応やかかわり、子育て支援、虐待予防のシステム等を探究する素地を養います。

専門看護師教育課程 小児看護 (P22)

[授業科目]	[単位数]
子どもの発達援助論	2
子どものフィジカルアセスメント	2
子どもの病態治療学特論	2
子どもと家族の看護演習	2
子どもと家族の援助論	2
子どもと家族のケアシステム論	2
子どもと家族の保健医療福祉特論	2
子どもと家族の保健医療福祉演習	2
子どもの診断・治療実習	2
小児看護専門看護師機能実習Ⅰ	4
小児看護専門看護師機能実習Ⅱ	4

### 老年看護学分野

高齢者への理解を深めるとともに、健康問題に対して、サクセスフルエイジングを基本に専門的知識と判断を伴う援助活動を修得します。加えて、高齢者のセルフケア能力開発や家族を含めた生活の質(QOL)の向上に貢献できる実践・研究能力を養います。

専門看護師教育課程 老人看護 (P22)

[授業科目]	[単位数]
老年看護特論	2
高齢者健康生活論	2
老化過程と病態論	2
高齢者援助論	2
高齢者ケアシステム論	2
老年看護演習Ⅰ(慢性期看護)	2
老年看護演習Ⅱ(認知症看護)	2
老年看護実習Ⅰ(慢性期看護)	6
老年看護実習Ⅱ(認知症看護)	4

### 在宅看護学分野

在宅で療養するあらゆる人を対象に、生活の質(QOL)の向上・維持を目的に、本人・家族への看護の知識と理論を学びます。また、在宅ケアシステムやケアマネジメント、保健・医療・福祉従事者との連携・協働のあり方、継続看護を学び、在宅看護、在宅ケアの質の向上が図れる研究能力を育成します。

[授業科目]	[単位数]
在宅看護特論	2
在宅看護演習	2
家族看護実習	2
在宅看護実習	2

### [Voice]

20年目の決意で得た広い視点

実践看護学領域 老年看護学分野  
2年生

長瀬 佐知子

臨床20年目にしてCNSを目指す決意をし、2年休職して進学しました。これまで現場で疑問を抱いてきた日常倫理から、考えもしなかった理論や哲学まで幅広く学び、同時にCNS実習では実践スキルを高めています。現場に活かせる学問だけでなく、時代の変遷や日本の医療体制という視点から広くものを考える癖がついてきたことを感じ、毎日が新鮮です。通学中、学校が近くなると「鳥の目 蟻の目 魚の目 びっくり返って蛙の目」と脳裏に流れます。高齢社会に還元できることを残り1年考えていきたいと思っています。



# 博士後期課程カリキュラム

## カリキュラム・ポリシー

博士後期課程では、看護学や看護実践の発展に寄与する研究者・教育者を育成するために、教育課程においては次のような点を重視している。

1. 広い視野で看護をとらえ、看護プログラムなどをデザインし発展させる能力、看護実践のもととなる原理を解明する能力を身につけるために、組織的な研究指導をする。
2. 学位論文の審査にあたっては、他の大学院の教員を審査委員に加える等、論文の質の向上と客観性の確保に努める。

## 博士後期課程(博士) 修了認定基準

修了に必要な修得単位数

本研究科博士後期課程に3年以上在籍し、特論科目2単位以上、演習科目8単位以上、計10単位以上を修得しなければならない。

その他の修了要件

博士論文の審査および最終試験に合格しなければならない。



## 看護学領域

### コミュニティケア・看護デザイン科学分野

あらゆる人々に対する、生活者としてのトータルティを重視したケアをデザインし、発展させることができる看護科学者の育成を目指します。

対象の生命力を高め、生活を支援するための療養環境や生活道具・設備のデザイン、看護プログラムのデザイン、看護提供環境の設計・管理のデザイン、ゼロ次予防から3次予防に至る保健・医療・福祉システムの社会的デザインとそれを裏付ける看護理論のデザイン等が含まれます。これらを効果的かつ科学的に進めるため、人文・社会・自然諸科学との学際的なアプローチを看護学の専門性と統合し、看護にかかわる現象の本質や看護実践の基となる原理の解明を重視します。

[授業科目]	[単位数]
看護デザイン科学特論	2
看護デザイン科学演習A	4
看護デザイン科学演習B	4
コミュニティケア科学特論	2
コミュニティケア科学演習A	4
コミュニティケア科学演習B	4

### 実践看護科学分野

高度な研究能力と実践力を有する人材育成を目指す前期課程「実践看護学領域」を発展させた後期過程のカリキュラムです。

対象の特性および居住する場の特性などに対応した専門的看護実践を裏付ける看護学を構築できる看護科学者の育成を目指しています。そのために、保健・医療・福祉にまたがる複雑な健康課題・社会的課題に対して、対象および家族それぞれのライフスタイルや在宅から施設に至る居住の場に応じた看護プログラムの開発やその検証を行うなど、科学的に看護学を探究します。

[授業科目]	[単位数]
子どもと家族・女性看護科学特論	2
子どもと家族・女性看護科学演習A	4
子どもと家族・女性看護科学演習B	4
成人看護科学特論	2
成人看護科学演習A	4
成人看護科学演習B	4
高齢者看護科学特論	2
高齢者看護科学演習A	4
高齢者看護科学演習B	4
在宅看護科学特論	2
在宅看護科学演習A	4
在宅看護科学演習B	4

### [Voice]

新たなスタートラインに立って  
看護学領域 看護デザイン科学分野  
平成28年度修了生  
福井県立大学  
看護福祉学部 准教授

笠井 恭子

自己の研究課題にひたすら向き合ってきた4年間でした。仕事と学業の両立は想像以上に大変でしたが、ご指導いただいた先生方、支えていただいた多くの方々のおかげで、歩みを止めずに前に進んで来られました。博士論文で取り組んだ研究課題は、私にとって一生をかけて追究していくテーマです。新たなスタートラインに立った今、この気持ちを忘れることなく、この大学での多くの学びを土台として、教育・研究活動に邁進していきたいと思っています。

修了生から  
(後期課程)



## 研究指導教員と研究テーマ [博士前期課程・後期課程]

- ◎ 教授 石垣 和子  
前期課程(地域・精神・保健学分野)、後期課程(コミュニティケア・看護デザイン科学分野)  
 家族看護、老人看護、過疎地域・農村地域での看護に関する研究  
 人々の文化や価値観に根差した看護に関する研究
- 教授 今井 美和  
前期課程(成人看護学分野)  
 がんの予防に関する研究  
 感染症の予防に関する研究
- 教授 大木 秀一  
前期課程(地域・精神・保健学分野)  
 根拠に基づいたヘルスクアの理論的基盤  
 地域における疫学研究の実践的応用
- ◎ 教授 川島 和代  
前期課程(老年看護学分野)、後期課程(実践看護科学分野)  
 看護理論の実践における検証に関する研究(主に老年期にある人対象の実践)  
 地域・在宅・施設におけるケア技術開発に関する研究
- 教授 小林 宏光  
前期課程(看護デザイン分野)  
 療養環境の人間工学的研究  
 心理的刺激に対する生理反応の研究
- 教授 多久和典子  
前期課程(成人看護学分野)  
 疾患の病態生理に立脚した疾患予防、治療とケア  
 分子と細胞の機能理解の看護学への応用  
 看護師による患者指導を通じた健康長寿社会の実現  
 脂質メディエーター情報伝達系の生理学・病態生理学的意義
- 教授 武山 雅志  
前期課程(看護管理学分野)  
 コミュニケーション・スキルに関する研究  
 こころのケアに関する研究
- ◎ 教授 西村真実子  
前期課程(子どもと家族の看護学分野)、後期課程(実践看護科学分野)  
 子育て支援、子どもの虐待予防、親子関係に関する研究  
 育児不安・育児困難・虐待に悩む母親への援助に関する研究
- 教授 長谷川 昇  
前期課程(老年看護学分野)  
 閉経後骨粗鬆症及びロコモティブシンドロームの予防に関する研究  
 認知機能・身体機能の低下防止に関する研究  
 ICT技術を活用した健康支援に関する研究
- ◎ 教授 濱 耕子  
前期課程(女性看護学分野)、後期課程(実践看護科学分野)  
 夫婦の親役割適応に関する研究  
 周産期の健康とQOL評価
- ◎ 教授 林 一美  
前期課程(在宅看護学分野)、後期課程(実践看護科学分野)  
 慢性疾患をもつ療養者と家族の看護に関する研究  
 要介護者と家族介護者の在宅ケアに関する研究
- ◎ 教授 牧野 智恵  
前期課程(成人看護学分野)、後期課程(実践看護科学分野)  
 病の中で、その人を支える「人生観」「価値観」に関する研究(がん、終末期、慢性疾患患者を対象に)  
 がん看護実践において化学療法および疼痛緩和に関する研究
- ◎ 教授 丸岡 直子  
前期課程(看護管理学分野)、後期課程(コミュニティケア・看護デザイン科学分野)  
 看護管理に関する研究  
 在宅療養移行支援(退院支援・退院調整)に関する研究  
 転倒リスクマネジメントに関する研究
- ◎ 教授 村井 嘉子  
前期課程(成人看護学分野)、後期課程(実践看護科学分野)  
 クリティカルケア看護における患者-看護師関係に関する研究  
 クリティカルケア看護における看護師の実践能力育成に関わる教育方法の研究  
 急性期看護実践の構造化に関する研究

○印は博士前期課程の研究指導教員  
◎印は博士前期課程と後期課程の研究指導教員  
(五十音順)

## [Voice] 専門看護師(CNS)の認定を受け活躍されている方々

連携・協働について学び、  
広い視野を持たた

博士前期課程 実践看護学領域  
子どもと家族の看護学分野 平成23年度修了生  
長野県健康福祉部 保健・疾病対策課  
小児看護専門看護師

風間 邦子

小児看護専門看護師として、疾病を抱えながら地域で暮らす子どもとその家族の支援を行政の立場で行っています。大学院の専門看護師機能実習で多機関・多職種との連携と協働について学び、広い視野を持たたことが現在の活動に大きな教訓となって活かしています。今後も子どもと家族が安心、安全に地域で暮らしていけるように、医療、福祉、教育、行政等との連携を調整し、状況の変化に応じた個別性のある支援を提供できるように努めたいと思います。



大学院での学びが、  
がん看護の実践へとつながる

博士前期課程 実践看護学領域  
成人看護学分野 平成27年度修了生  
福井大学医学部附属病院 地域医療連携部  
がん看護専門看護師

久保 博子

がん末期の患者さんたちが苦悩の中で亡くなっていく姿を目の当たりにし、看護実践力を高めたいと思い、がん化学療法認定看護師、そしてがん専門看護師へと貪欲に学び続けてきました。どんなつらい状況でも生きていくこと自体に意味があると大学院で学んだことが、がん看護の実践につながりました。がん看護専門看護師となった現在、病院で治療を受けたがん患者を北陸の専門看護師のネットワークを活かし、地域でサポートを受けられるように県境を越えて支援し始めています。

